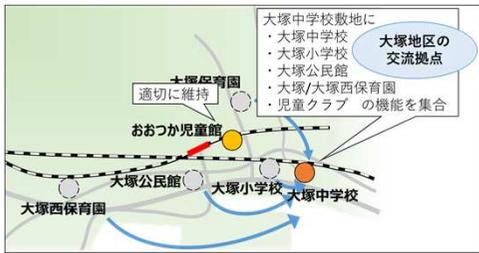


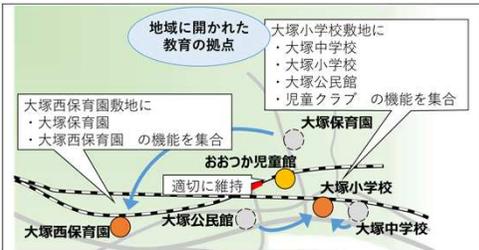
大塚地区の再配置プラン案

以下の7つの再配置プランについて検討を行っています。今後、今回議論した評価項目等をふまえてプランの絞り込みを行う予定です。

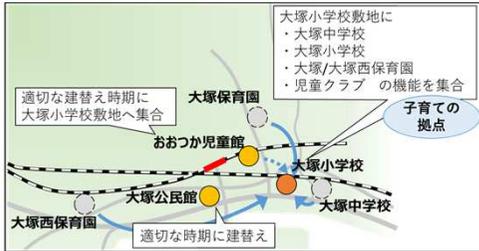
A 多世代交流の拠点をつくるプラン



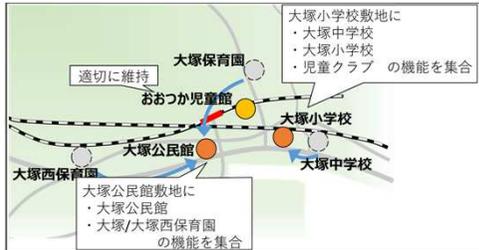
B 災害時の避難所を確保するプラン



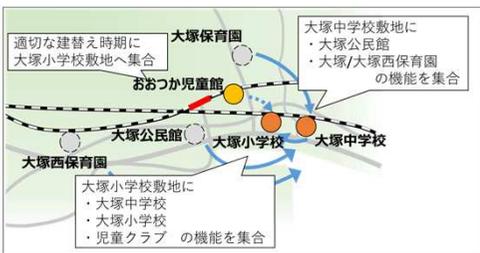
C 子育ての拠点をつくるプラン



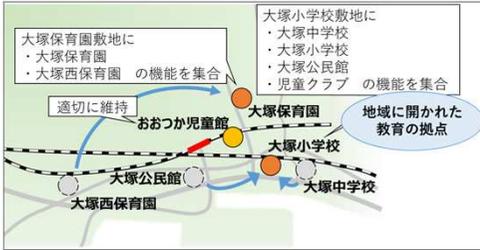
D' D案の公民館の集合先を変更したプラン



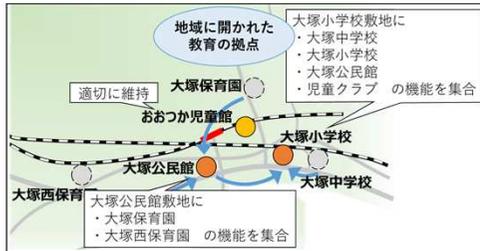
A' A案の学校・児童クラブの集合先を変更したプラン



B' B案の保育園の集合先を変更したプラン



D 子育てにおける利便性向上を図るプラン



ご意見募集

地区にお住まいの皆さまのご意見を踏まえて「地区個別計画」の策定に向けた検討を進めていきます。

- ワークショップで検討されている内容について
- 大塚地区のまちづくりや公共施設について

以下のお問い合わせ先まで、メール・ファクス・郵便・持参により、どうぞお気軽にお届けください。ご住所、お名前、年齢、連絡先をご記載ください。

次回ワークショップについて

日時：3月27日(日)
午後1時30分～午後4時30分
内容：再配置プラン案の絞り込み
 大塚中学校にて傍聴ができます。ご希望の方は、右のお問い合わせ先までご連絡ください。
 (新型コロナウイルス感染症の状況により傍聴を中止する場合がありますのでご了承ください。)

お問い合わせ先

蒲郡市総務部公共施設マネジメント課
 〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号
 E-mail k-mane@city.gamagori.lg.jp
 TEL 0533-66-1214 / FAX 0533-66-1183
 ワークショップやオープンハウスでいただいたご意見について、詳細はHPに掲載しています。
 (右のQRコード、または市HP 記事ID「0205697」で検索)



大塚地区 かわら版 第4号

大塚地区 まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

蒲郡市では、今後進む人口減少・少子高齢化による社会情勢の変化を見据え、公共施設の維持更新費用により将来に大きな負担を残さないため、「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで地区内の公共施設(小学校・中学校・保育園・児童館・公民館)の将来のあり方について皆さまに考えていただく機会として「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催しています。今回は1月23日(日)に開催した第4回ワークショップの様子をお伝えします。

ワークショップで話し合われている内容等について地域の皆さまからのご意見を募集しています。いただいたご意見は、ワークショップ参加者の皆さまと共有し、検討を進めていきます。(裏面の「ご意見募集」をご覧ください。)

検討の進め方

蒲郡市は、このワークショップでのご意見をはじめ、地区の皆さまのご意見を踏まえて、大塚地区の将来の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」の検討を進めています。第4回ワークショップでは、再配置プランを評価するための評価項目について検討を行いました。



オープンハウスを開催しました!
 12/20-22 保育園(大塚・大塚西)
 1/7 大塚公民館
 12/8~17 WEBアンケート(中学校保護者向け)
 12/25~1/10 WEBアンケート(地区内全域)
 再配置プランについてご意見をいただきました。

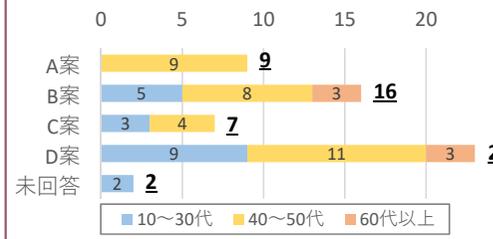


1/23開催
第4回ワークショップ
 再配置プラン案を比較するための評価の方法について意見交換を行いました。

オープンハウス(パネル展示型説明会)を開催しました。

地区内にお住まいの皆さまへワークショップの様子をお伝えし、ご意見を伺うための取り組みとしてオープンハウス(パネル展示型説明会)を開催しました。いただいたご意見はワークショップ参加者とも共有し、検討の参考としました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、WEB上でもご意見を伺いました。たくさんの方のご参加まことにありがとうございました。(各案の概要は最終ページに掲載しています。)

Q A~Dの4つの再配置プランのうち、あなたの理想に近い案はどれですか。



- 選択理由(一部抜粋)**
- A案・世代間交流が少なくなりつつあるので、子ども達の異年齢の繋がりも面白そう。
 - 子どもから大人まで同じ場所で活動することで、地域の輪が広がりそう。
 - 建物を1つにすることで利用者の関係も深まる。
 - B案・保育園と小中学校は離れていた方が良い。テスト中に集中できないのではないかな。
 - 東側に施設が偏ると西側の人が不便になる。
 - 災害時の避難所は多い方がよい。
 - C案・子育て世代の利便性や公民館へのアクセスがよい。
 - 公民館は高齢者が多く利用すると思うので、現地に残した方がよい。
 - D案・小中学校が集約され、公民館も集まる点が良い。
 - 大塚全体で考えて、交通の便がよいと思う。
 - 保育園が地区の中心になるのはよい。小学校にも遊びに行ける距離だ。



上記アンケートの実施のほか、大塚中学校様にご協力いただき、地域の未来を担う中学生の皆さんにも「地区の理想像」や「そのために必要な施設やサービス」を考えていただきました。

- 子どもからお年寄りまで交流できるまちにしたい
- 小学生が中学生から学べるような環境がほしい
- 保育園や児童館をひとつにして、小さな子供たちと遊びたい
- どんな人が来てでも快く迎えてくれる施設にしたい

再配置プラン案の評価検証

第4回ワークショップでは前回ワークショップを踏まえて追加したA'・B'・D'の3つの派生案について検討するとともに、これまでのご意見をもとに作成した評価一覧表(案)を用いて、再配置プラン案を比較するための評価項目や評価方法について修正点や配慮すべき点などのご意見をいただきました。

評価一覧表(案)

視点	評価項目	A案	A'案	B案	B'案	C案	D案	D'案
① 多様な人々との交流	ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。(施設の位置関係で評価)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	イ 交流の拠点が整備されているか。(公民館と小中学校の位置関係、児童館の立地で評価)	◎	△	◎	◎	△	◎	○
	ウ 地域行事で活用しやすい施設配置となっているか(公民館の周辺人口で評価)	△	△	△	△	○	△	○
② 子育てしやすい環境づくり	エ 若者・外国人などが利用しやすい施設が整備されているか。	○	○	○	○	○	○	○
	オ 低年齢児保育などの保育サービスは向上しているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	カ 子ども達の送迎がしやすい施設配置となっているか。(保育園と児童クラブの位置関係で評価)	◎	○	△	○	◎	○	○
	キ 自動車で利用しやすい保育園は整備されているか。(駐車場の確保可能性で評価)	○	◎	△	○	○	△	△
	ク 駅から利用しやすい保育園は整備されているか。	○	○	○	○	○	◎	◎
③ 子ども達の居場所づくり	ケ 児童クラブは利用しやすい施設配置となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	コ 広々とした校庭・園庭は整備されているか。	△	◎	○	○	△	△	△
	サ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。(保育園・小学校・中学校の位置関係で評価)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
④ 生涯現役でいられる地域づくり	シ 子ども達の遊び場は確保されているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ス 子ども達の居場所に選択肢があるか。	○	○	○	○	○	○	○
⑤ 安全・安心	セ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。(公民館と小中学校の位置関係で評価)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ソ 高齢者が地域活動に参加しやすい施設配置となっているか。(公民館の周辺高齢者人口で評価)	△	△	△	△	△	△	○
⑥ 利便性の確保	タ 避難所機能は確保されているか。(避難所の収容人員で評価)	○	○	○	○	○	○	○
	チ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか。(避難所の周辺人口で評価)	△	△	○	△	△	△	△
	ツ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。(小中学校と保育園の位置関係で評価)	△	○	○	○	△	○	○
⑦ 効率的な施設配置	テ 交通渋滞が生じにくい施設配置となっているか。(保育園の立地で評価)	○	○	△	△	○	◎	◎
	ト 通学しやすい施設配置となっているか。(小中学校の周辺年少人口で評価)	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ナ 駐車スペースは確保されているか。(公民館の駐車場の確保可能性で評価)	○	◎	○	○	○	○	△
	ニ バリアフリーに配慮された施設配置となっているか。	○	○	○	○	○	△	△
	LCC(ライフサイクルコスト) 試算における50年間の縮減額(単位:百万円)	4,008	3,416	3,961	3,951	3,701	3,705	3,651
視点①～⑥については、評価項目ごとに(◎:現状より向上、○:現状維持もしくは一長一短がある、△:現状より低下)の3段階で評価しました。視点⑦については、LCC(ライフサイクルコスト:建設だけでなく修繕・運営など維持管理に係る費用を含んだ施設の生涯費用)の試算における50年間の縮減額にもとづき評価しました。								
	◎の個数	8	9	8	8	7	10	8
	○の個数	8	9	9	10	11	6	9
	△の個数	6	4	5	4	4	6	5

その他

【施設の複合について】

- 公民館と小学校の集合は、地域住民と子ども達が日常的に交流できてよい。
- 時間の流れを共有できそうな公民館と保育園を集合するのがよい。
- 災害時のリスクを考えると、機能を1か所に集めるのではなく、分散配置することも必要だ。

【施設の立地について】

- 子育て世代からは、保育園と児童クラブが近い方がよいと聞く。
- 既存の敷地だけではなく、新たな候補地も含めて検討できるとよい。

【教育環境について】

- 小中学校を別々にしたり、公民館の図書室分室を活用するなど、環境になじめない子どもの逃げ場を作ること必要だ。
- 子どもの生活環境や認知能力が異なるため、保育園と小中学校は分けたほうがよいと思う。

【跡地活用について】

- 跡地を地域で集まれる場所や安全に運動できる場所等にしていくとよい。
- 大塚保育園敷地は隣接施設とともに福祉の拠点として再整備すると有効活用できる。
- 大塚西保育園敷地は、既存建物を活用し休憩所や災害時の避難所として活用してはどうか。
- 大塚西保育園敷地に西大塚の住民が交流できる場を設けることで、東側への施設の偏りを改善できる。
- 公民館敷地は地区の中央にあり、駅にも近いため立地がよい。有効活用したい。

【防災・防犯】

- 施設に様々な人が集まり、あいさつを交わす関係になることは防犯上効果的である。
- 避難所配置は地域の実情に即して考えるべきだ。
- 施設の跡地を公園等にする場合でも、災害時の避難所としてならぬかの建物が必要だと思う。
- 大塚西保育園がなくなると、付近の人は蒲郡東高校に避難することになるだろう。避難場所の情報などきちんと伝えていく必要がある。

【その他】

- 同じ評価の項目が多く、差が分かりにくい。
- 世代や地区によってどの評価項目を重視するのかが異なるだろう。
- 新しい公民館には、地域の情報提供や地域交流機能を充実させてほしい。
- 中学生向けのオープンハウスは意義深い。将来の担い手である中学生の考えも配置案の検討にしっかりと取り入れてほしい。

① 多様な人々との交流

- 施設の駐車場などオープンスペースの活用についても評価に加えてよいのではないかと。
- 【ア】最も多くの施設が集まるA案は特に世代間交流が期待できるため、他の案よりも評価できるのではないかと。
- 【ア】すべての機能を集合するのは無理があるため、「交流のしやすさ」は施設がある程度分散している【◎】で妥当だと思う。
- 【ウ】施設の配置にあたって、お祭りなど地域行事での活用は重要な視点である。
- 【ウ】ほとんどの案で「△」となっているが、公民館やそれと同様の施設を西大塚に配置するなどして状況を改善することはできないだろうか。

② 子育てしやすい環境づくり

- 送迎の利便性だけでなく、徒歩での通園を楽しむような環境があるとよい。移動のしやすさだけが子育てしやすい環境とは限らない。
- 【キ】保育園の駐車場確保は重要である。
- 【ク】電車で通勤する親にとっては、駅からの利用しやすさも重要な項目である。
- 【コ】複合化した際に、校庭や園庭が窮屈にならないかも心配だ。

③ 子ども達の居場所づくり

- 【サ】施設が離れていても運用面で工夫すれば交流は可能であるので、施設の位置関係だけで評価するのは違うと思う。(ア・セも同様)
- 【シ】放課後の子ども達の遊び場についてももっと重視すべきだ。児童館が他の施設とプログラム上も連携することが重要だろう。
- 【ス】子ども達の居場所づくりについては、すべての案で「○」となっているが他に評価の方法が考えられないか。

④ 生涯現役でいられる地域づくり

- 高齢者の利用が多い公民館は、駅からの近さなど利便性が重要だ。
- 【セ】公民館機能を他施設と集合し交流が増えることが望ましい。特に、公民館と保育園の集合は、利用者の生活リズムなどから高齢者が活躍できるのではないかと。
- 【セ】公民館が児童クラブと連携し、高齢者が子ども達に様々なことを教えてあげられるとよい。

⑤ 安全・安心

- 子ども達にとって安全で利用しやすいかという視点を加えたい。
- 子ども達のセキュリティは重要な視点である。
- 保育園児が災害時に安全でいられる施設配置かという項目を追加するのはいかがでしょうか。
- B案は災害時の避難所として大塚西保育園を活用しようという案だ。この案の西大塚に施設が残るといふ立地面を評価できないか。
- 旧道の安全性について対策を考えてほしい。
- 周辺の交通量を指標とし、保育園周辺が安全な環境であるかを評価してはどうか。
- 【タ】避難所の確保については、再編対象施設以外の避難所も含めて評価をすべきだ。
- 【ツ】大塚金野線の開通による今後の影響を評価に盛り込むことはできないか。

⑥ 利便性の確保

- 施設が東側に偏ってしまうことについて、評価に反映できているだろうか。